

外国人から日本についてよく聞かれる250の質問 (移動と交通編)

動画リンク: <https://youtu.be/ymDu3uobG2Q>

今回は「外国人から日本についてよく聞かれる250の質問 (移動と交通編)」を学びながら、日本語を勉強しましょう。

この動画は、前半は少しゆっくりのスピードで、漢字には「ふりがな」があります。

後半は少しだけ速く (+ 20%) なり、漢字に「ふりがな」はありません。学習にお役立ててください。

■私のこと

こんにちは、佐野圭介と申します。30歳で東京で働く会社員です。大学時代には、留学生と交流するサークルに所属していたことがきっかけで、多くの外国人の友人ができました。彼らとの会話を通じて、日本の文化や日常生活がどのように見られているのかを知ることができ、私自身も「日本ってこんなに面白いんだ」と新たな発見をすることがたくさんありました。

その後、仕事で海外の取引先とやり取りをする機会が増えたことで、さらに「日本の魅力」や「不思議」を説明する場面が増え、改めて日本独自の文化やシステムに興味を持つようになりました。

今回は、外国人からよく聞かれる日本についての250の質問の中から「移動と交通」に関する質問に答えます。私たちの日常に当たり前のようになっているこれらの仕組みや文化について、みなさんと一緒に考えてみたいと思います。そして、日本人としてこの魅力的な文化を少しでもお伝えできればうれしいです。

■なぜ日本の新幹線はこんなに速いの？

まず、新幹線が速い一番の理由は、技術革新と高い精度の管理が組み合わさっていることです。新幹線は1964年に初めて運行を始めたのですが、その後も技術がどんどん進化し続けてきました。例えば、線路や車両のデザインは空気抵抗を抑えるために工夫されていて、そのおかげでとてもスムーズに走ることができます。

さらに、日本の鉄道網は世界でもトップクラスの密度があって、その効率的な運行を支える高度なシステムがしっかりと整っています。だから、新幹線は時間通りに、しかも高速で移動することが可能なのです。そして、新幹線が速いだけでなく、安全性も非常に重視されています。厳しい保守管理が行われているので、安心して安定した速度で運行できるのです。こうした要素が組み合わさって、日本の新幹線は世界でも最速の鉄道の一つになっています。普段利用している私たちにとっては当たり前前の存在かもしれませんが、世界の多くの人にとっては驚きです。

■なぜ日本の電車はあんなに時間に正確なの？

日本の電車が時間に正確なのには、いくつかの理由があります。まず第一に、鉄道会社がとても細かいスケジュールを作成していて、そのスケジュールを守るために多くの努力をしているからです。電車を運転する運転士さんたちは、予定どおりに運行するために日々訓練を積んでいます。さらに、駅で働くスタッフも大きな役割を果たしていて、電車がスムーズに出発できるように連携してサポートしています。

また、鉄道の安全性を保つために、事故や故障を防ぐための定期的な点検や保守作業が徹底されています。こうした機械や設備の管理がしっかりしているおかげで、電車がほとんど遅れることなく運行できるのです。

日本の電車は、時間通りに動くことが当たり前と思われがちですが、実はその裏で多くの人たちの努力があるのです。

■なぜ日本の電車は遅延率が低いのか？

日本の鉄道が遅れにくいのは、非常に正確で効率的な運行システムと、徹底した管理が行われているからです。鉄道会社は、遅延を最小限に抑えるために、運行スケジュールをととても細かく設定しています。そして、運転士さんや駅員さんが、そのスケジュール通りに動けるように日々徹底した努力をしています。また、定期的なメンテナンスや点検が行われることで、設備の故障やトラブルが発生しないようにしているのも大きなポイントです。それだけではなく、もし何かの理由で遅延が発生した場合でも、鉄道会社はすぐに対応し、乗客に正確な情報を伝えることで混乱を最小限に抑えています。

こうした取り組みが日本全国の鉄道で一貫して行われているので、遅延率が驚くほど低く保たれているのです。私たち日本人にとっては当たり前を感じるかもしれませんが、これは多くの人の努力と、綿密に計算されたシステムが作り出した結果です。

■人が動けないくらいの満員電車って本当にあるのか？

日本には本当に人がほとんど動けないほど混雑する満員電車があります。特に東京や大阪のような大都市では、朝と夕方の通勤ラッシュの時間帯に、多くの人が電車を利用するため、車内はものすごく混雑します。この時間帯に電車に乗ると、自分の足元すら見えないくらいのぎゅうぎゅう詰めの状況になることも珍しくありません。

そのため、駅には「押し屋」と呼ばれるスタッフがいて、乗客を安全に車内へ押し込む手伝いをしています。このような混雑は主に大都市の通勤ラッシュで見られるもので、地方の電車ではあまり起こりません。

鉄道会社も混雑を減らすために、電車の運行本数を増やしたり、車両を長くするなど、いろいろな工夫をしていますが、それでも完全に解消されることは難しいのが現状です。ただ、この満員電車の文化は日本独特のものと言えるので、外国人観光客が見たらきっと驚くと思います。私自身も混雑の中で大変だと感じるがありますが、これも日本の生活の一部だと受け入れています。

■日本の電車はどうしてこんなに広告が多いの？

日本の電車に広告が多い理由は、広告が鉄道会社にとって重要な収入源の一つだからです。特に都市部の電車では、利用者が非常に多いため、広告を出す企業にとっても効果的な宣伝の場になっています。車内を見渡すと、ポスターだけでなく、ドアの上に設置されたディスプレイや窓の近く、さらには駅のホームや階段にまで広告があることに気づくと思います。

電車に乗る人が車内で過ごす時間が長いほど、自然と広告に目が行きやすくなるので、宣伝効果も高いです。実際に、広告の内容もさまざまで、新商品やイベントの情報、観光地の紹介などが多く含まれています。これらの広告は企業にとっては商品やサービスを広める絶好の機会であり、鉄道会社にとっては大切な収益源となっています。

私たち利用者にとっては普段あまり意識しないかもしれませんが、この広告の存在が鉄道会社の運営を支える一部となっているのです。日本の電車に乗る際に、こうした広告をじっくり見てみると、新しい発見があるかもしれません。

■日本の電車の中では電話で話すことが禁止されているの？

日本の電車の中で電話で話すことについてですが、実は完全に禁止されているわけではありません。ただし、多くの人が利用する公共の空間なので、他の乗客に迷惑をかけないようにするマナーが求められています。特に、優先席の近くでは携帯電話の電源を切るか、マナーモードに設定することが推奨されています。こうしたルールは、心臓ペースメーカーなどの医療機器を使用している方への配慮から始まったものです。

また、混雑した車内や静かな環境では、通話を控えるのが一般的です。駅や電車内のアナウンスでも『通話はお控えください』と注意が促されています。どうしても電話に出なければならない場合は、できるだけ小さな声で話したり、電車を降りてから通話するのが礼儀とされています。

このようなマナーが大切にされている理由は、他の乗客が快適に過ごせるようにするためです。電車は多くの人と一緒に利用する場所なので、他人への配慮がとても重視されています。日本のこうした公共交通機関のマナーは、他の国から来た友人たちにもよく驚かれますが、知れば知るほど興味深い文化だと思えます。

■なぜ日本では電車の中でマナーが厳しいの？

日本の電車内でマナーが厳しい理由についてですが、これは日本の文化的な価値観が大きく関係しています。日本では、他人との調和を大切にする社会的なルールが非常に重視されています。公共交通機関もその一環で、電車内でのマナーを守ることは、他の乗客への配慮や尊重の表れとされています。

例えば、携帯電話での通話を避けたり、大声で話さないのは、周りの人々を不快にさせないための配慮です。また、日本の電車は特に混雑することが多いので、他人のスペースを尊重し、迷惑をかけないようにするための規則も重要視されています。

さらに、日本では公共の場での行動が厳しく見られることが多く、電車内でのマナーもその一部として認識されています。こうしたマナーが守られているおかげで、私たち利用者は多くの人と一緒に乗っていても、比較的快適に過ごすことができているのだと思います。

外国の友人にこの話をすると、「どうしてみんなそんなにルールを守れるの？」と驚かれることがよくありますが、これも日本独特の文化の一つとして理解してもらえたらうれしいです。

■なぜこんなに電車の路線が複雑なの？

日本の電車の路線がこんなに複雑なのは、大都市で多くの人が電車を利用しているため、それに対応する必要があるからです。特に東京や大阪のような都会では、毎日何百万人もの人が通勤や通学で電車を利用しています。そのため、たくさんの路線が作られ、それぞれが違う地域を結んでいるのです。また、電車の運営会社がJR、私鉄、地下鉄など複数に分かれているので、結果として路線が非常に複雑に見えることがあります。

この複雑なシステムのおかげで、どこへでも便利に移動できるようになっています。慣れるまでは路線図がちょっと難しく感じるかもしれませんが、利用していくうちにスムーズに使えるようになっていきます。初めて東京に来た外国人の友人も、『最初は迷ったけど、慣れると本当に便利だね』と感心していました。

■ 1人で電車に乗っている子どもを見て驚きました。日本ではこれが普通なの？

日本では、1人で電車やバスを利用する子どもを見かけることは、特に珍しいことではありません。小学生の高学年くらいになると、自分で学校や塾に通うのが普通になってきます。これにはいくつか理由があって、まず日本は比較的 안전한社会であることが挙げられます。そして、公共交通機関が便利で時間通りに動くので、親が送り迎えをしなくても子どもたちが自分で移動できる環境が整っています。

さらに、日本の子どもたちは小さい頃から自立心を育む教育を受けることが多いです。そのため、子どもたちは早い段階で自分で行動する力を身につけます。ただし、親は何かあったときにすぐ連絡できるように準備しておくのが一般的ですし、電車内でも周囲の大人が自然と見守ることが多いです。この『みんなで見守る』という文化も、日本ならではの特徴だと思います。

■ たくさんの日本人が電車の中で眠っているのはなぜ？

日本の電車で多くの人が眠っているのには、いくつかの理由があります。一つ目は、日本人が仕事や勉強で忙しい生活を送っているからです。夜遅くまで働いたり勉強したりするのが普通なので、通勤や通学の電車の中が貴重な休憩時間になっています。

さらに、日本の電車は時間に正確で、安全性も非常に高いので、安心して眠れる環境が整っています。そして、都会では通勤や通学に長い時間がかかることが多いので、その間に少しでも休もうと考える人が多いのも理由の一つです。周りの人も寝ている人を起こさないという暗黙のルールがあるので、電車の中は意外とリラックスできる空間になっています。ただし、終点を乗り過ぎないように注意が必要です。

■ エスカレーターでは右側に立つのがマナーですか？

日本のエスカレーターでは、どちら側に立つかは地域によって違いがあります。例えば、東京をはじめとする関東地方では左側に立ち、右側を空けるのが一般的です。一方、大阪や京都などの関西地方では逆に右側に立ち、左側を空けます。この習慣は、急いでいる人が通りやすいように片側を空けるという配慮から広まったと言われていますが、実は正式なルールというわけではありません。

ただ、最近ではエスカレーターの上で歩くこと自体を控えるように呼びかける動きも強まっています。高齢者や子どもが巻き込まれる事故を防ぐために、鉄道会社や商業施設が『立ち止まって乗りましょう』と注意喚起をしているのです。私も、訪れた地域でどちら側に立つか迷ったら、周りの人を観察するようにしています。地域ごとの流儀に合わせるのが一番スムーズで安全な方法です。

■ 日本のタクシーはなぜ自動ドアなの？

日本のタクシーが自動ドアなのは、お客さんが便利に乗り降りできるようにするためです。この仕組みのおかげで、タクシーの運転手さんがわざわざ車を降りてドアを開け閉めする手間が省けて、スムーズなサービスが提供されています。特に雨の日や荷物を持っているときには、自動ドアは本当に助かります。

この自動ドアは、日本のサービス精神を象徴しているとも言えます。乗る人が快適に過ごせるように細かな工夫がされています。それだけではなく、安全性の面でもメリットがあり、運転手さんがドアを操作することで、急にドアが開いて事故につながるリスクを減らすことができます。こうした点から、日本のタクシーの自動ドアは、便利さと安全性を両立させた素晴らしい仕組みだと思えます。

■ なぜ日本のタクシーはあんなに高いの？

日本のタクシー料金が高いと感じる理由には、いくつかの要因があります。一つ目は、運転手さんの給与や福利厚生がしっかりと保証されていることです。

タクシーの運転手さんは安全で丁寧なサービスを提供しているので、その質を維持するためのコストが運賃に反映されています。

また、車両の維持費やガソリン代、定期的な車検や保険料なども含まれています。さらに、都市部では渋滞が多く、短い距離でも時間がかかることがあるため、料金が高く感じられることがあります。そして、深夜や休日には割増料金が適用されることも理由の一つです。

例えば、東京都内では初乗り運賃が1.052kmまで420円で、その後は233mごとに80円が加算されます。10kmくらいの距離を移動すると、だいたい3,500円前後になることが多いです。最近ではUberのようなライドシェアサービスもありますが、日本ではタクシーと料金が大きく変わるわけではありません。

確かにタクシー料金は高めかもしれませんが、その分、安全性やサービスの質が高いのが特徴です。信頼できる移動手段として、利用する価値はあると思います。

■なぜ日本の車はみんなピカピカに光るほどきれいなのか？

日本の車がいつもピカピカなのは、持ち主が車をととても大切にしているからです。多くの人が自分の車を定期的に洗車したり、専門店でクリーニングをしてもらったりしています。これが日本ではごく普通のことです。また、日本の道路が清潔で砂や泥が少ないことも、車が汚れにくい理由の一つです。

さらに、日本では車検のときに外装の状態もチェックされるので、汚れた車であることは少ないです。車をきれいに保つことは、持ち主にとってのプライドや責任感の表れでもあります。そして、きれいな車は売るときに価値が高くなるので、手入れをしっかりとっている人が多いです。車をきれいにしていると、それだけで気分が良くなりますし、周りにもいい印象を与えられる気がします。

■ どうして日本には小さい車がたくさんあるの？

日本に小さい車が多い理由は、その便利さと経済性にあります。特に「軽自動車」と呼ばれる小型車は、日本ではとても人気があります。この車は普通の車よりも小さいので、狭い道や狭い駐車場が多い日本の環境ではとても使いやすいです。また、軽自動車は税金や保険料が安く、燃費も良いので、日々の生活で経済的に助かります。

さらに、小さい車は環境への負担が少ないというエコな面でも注目されています。都市部では駐車スペースが限られていることが多いので、小さい車は停めやすく、多くの人に選ばれています。こうして考えると、小さい車は日本の生活スタイルにぴったりな存在だと思いますし、私も将来、車を買うときは軽自動車を選ぶと思います。

■ 日本の道はなぜ狭いの？

日本の道が狭い理由には、いくつかの歴史的や地形的な背景があります。例えば、京都や江戸（今の東京）のように、城や寺社を中心に発展した街では、もともと人や荷車が通ることを想定して作られた細い道がそのまま残っています。また、江戸時代には防犯の目的で、あえて道幅を狭くして通りを曲げる設計がされることもありました。これにより、大勢の兵が一気に街に侵入しにくくなるという、城下町独特の防御の工夫があったのです。

さらに、日本の国土の約7割は山地なので、平地が限られていることも影響しています。その限られた土地に多くの人や建物が集中することで、道路の拡張が難しい場合が多いです。加えて、土地の権利問題や既存の建物の影響で、大規模な再開発がスムーズに進まない場合もあります。

最近では、都市再生プロジェクトで道幅を広げる工事も行われていますが、住宅が密集している地域ではなかなか難しいのが現状です。こうした歴史や地形、都市計画の事情が絡み合っ、日本には細い道が多く残っているのです。ただ、狭い道が日本らしい景観を作っているとも言えます。

■ 渋谷のスクランブル交差点にはなぜあんなに人がたくさんいるの？

渋谷のスクランブル交差点に人が多い理由は、渋谷が東京でも特に賑やかなエリアだからです。渋谷駅は主要な駅の一つで、1日の乗降客数が約50万人にもなります。この交差点は駅のすぐ近くにあつて、ショッピングやグルメ、エンターテインメントを楽しむ人たちが観光客が行き交う場所です。

特に、この交差点では青信号の間に1,000人から3,000人が一斉に道路を渡ることもあつて、その光景はまるで大きなイベントのようです。それがまた世界的に有名で、多くの観光客が訪れて写真や動画を撮影しています。

さらに、渋谷はオフィスや学校も多いので、通勤・通学で利用する人もたくさんいます。こうした要素が組み合わさつて、渋谷のスクランブル交差点は、日本でも特に人が集まる場所になっているのです。私自身もたまにここを通りますが、世界中から人が集まるエネルギーを感じられる特別な場所だなと思ひます。

■ なぜ日本の歩行者は周りに車がいなくても信号を守るの？

この理由には、子どもの頃から交通ルールを守るように徹底的に教育されていることが挙げられます。信号を守る事が当たり前前行動として身につけているのです。また、日本には『周りの目を気にする』という社会的な風土があつて、他の人が信号を守っていると自分も守らなければと感じる人が多いです。

さらに、都市部では交通規制が厳しく整備されてい、方が一信号を無視して事故につながると、大きな責任を問われる可能性があります。こうした背景から、軽率に赤信号を無視することを避ける人が多いです。

このようなルールを守る文化は、外国の友人からも「日本人らしい」とよく言われますが、安全で秩序ある社会を支える一つの要因だと思ひます。

■日本では歩きながら食べるのは不作法なの？

日本では、歩きながら食べるのをあまり好ましく思わない人が多いのは事実です。法律で禁止されているわけではありませんが、『周りに対して失礼だ』とか『上品ではない』という印象が根付いているのです。特に、電車や観光地のような混雑した場所では、食べ物や食べこぼし、ゴミの始末が問題になることもあるので、周囲の迷惑を考えて控えるのがマナーとされています。

それに、日本では「食事を落ち着いて味わう」という文化が強いので、どこか座れる場所を見つけて、ゆっくり食べることを好む人が多いです。実際、コンビニの近くや街中にはベンチや飲食スペースがたくさん用意されているので、わざわざ歩きながら食べなくてもいい環境が整っていると思います。

ただ最近では、テイクアウト文化が広がったこともあって、スナック菓子やドリンクを片手に歩いている人も増えてきました。お祭りなどでは、屋台の食べ物や歩きながら楽しむのも普通の光景です。このように、日本では場面や周囲への配慮が重要視されていて、シチュエーションに応じて柔軟に行動することが求められます。

■日本人はなぜ行列に並ぶのが好きなの？

日本人が行列に並ぶのが好きというわけではなく、行列に並ぶのが普通になっている理由は、秩序を守る文化が深く根付いているからだと思います。日本では、公共の場でのマナーやルールを守ることがとても大切にされています。行列に並ぶことで、他の人と平等に順番を待つことができ、スムーズに物事が進むのです。

特に人気のあるレストランやイベントでは、行列ができるのが当たり前になっています。むしろ、その行列がその場所や商品がどれだけ人気かを証明していると言っても過言ではありません。並んでいる間も静かに待つのが日本らしいところで、他の人とトラブルを起こすことも少ないです。こういった「秩序を守る」文化は、日本の特徴的な部分だと思えますし、外国から来た友人にもよく驚かれます。

■なぜ日本では雨の日にビニール傘をよく使うの？

日本で雨の日によくビニール傘を見かけるのは、その手軽さが大きな理由だと思えます。ビニール傘は安価で購入できるので、急に雨が降ってきたときでも、すぐに手に入れることができます。

日本では、駅やコンビニなど、どこでもビニール傘を買える環境が整っています。そのため、雨が降ったときに「ちょっと傘が欲しいな」と思ったらすぐに入手できます。短時間の雨でも手軽に使えるし、軽くて扱いやすいので、多くの人に選ばれているのだと思えます。私自身も急な雨のときはついビニール傘に頼ってしまいます。こういう手軽さが日本ならではの便利さを表している気がします。

■なぜ日本人は家の中で靴を脱ぐの？

日本人が家の中で靴を脱ぐのは、清潔さと衛生面を大切にする文化があるからです。外で履いている靴は、道路や公園などで拾った汚れや細菌がついていることが多いので、それを家の中に持ち込まないようにするために靴を脱ぐ習慣が根付いています。

また、日本の家では床に直接座ったり、寝転んだりすることが多いので、床を清潔に保つことがとても重要です。靴を脱ぐことで、家の中を快適で安心できる空間にするという考え方があるようです。こうした習慣は、家庭内の衛生を保つための自然な方法として、長い歴史の中で受け継がれてきたものだと思います。

■なぜ日本の駅前には商店街が多いの？

日本の駅前に商店街が多いのは、駅を中心に人々の生活を便利にするための歴史的な背景があります。駅は多くの人が通勤や通学で利用する場所なので、日常的に買い物をするのに最適な場所として商店街が発展してきました。特に、地元の小さなお店が集まることで、地域全体の経済が活性化するというメリットもあります。

さらに、駅前商店街は、単なる買い物の場所ではなく、地域のコミュニケーションの場としても重要な役割を果たしています。お店の人とお客さんの間で自然に会話が生まれたり、地域文化が発信される場所になったりするので、親しみやすい雰囲気があります。駅前に商店街があることで、地域のつながりが強まり、そこに住む人たちにとっても便利で魅力的な空間になっているのだと思います。

■なぜ日本人は旅の計画を詰め込むの？

日本人が旅の計画を詰め込みがちなのは、限られた時間の中でできるだけ多くのことを経験したいという文化的な傾向があるからだだと思います。せっかく旅行に行くなら、いろいろな場所を巡ったり、たくさんのアクティビティを楽しみたいと思う人が多いです。

また、日本では『計画的に行動する』ことが重視されるので、事前にしっかりと旅行プランを練るのが一般的です。これによって、旅先での無駄な時間を減らして、効率よく楽しむことができると考えられています。それに、『効率的に物事を進める』というのは、日本の美德の一つでもあります。

私の周りにも、分刻みでスケジュールを立てて旅を楽しむ人がたくさんいます。もちろん、のんびり過ごす旅もいいですが、日本人らしいこの『計画を詰め込むスタイル』も、旅行を最大限に楽しむ一つの方法なのだと思います。

「外国人から日本についてよく聞かれる250の質問（移動と交通編）」はいかがでしたか。
コメント欄から感想をみんなに教えてください。
それでは、また別の動画でお会いしましょう。



Japanese-listening-SUSHI

